

令和5年度 新潟大学 経済科学部

学 校 推 薦 型 選 抜

試 験 問 題

【科 目】 総 合 問 題

【時 間】 90分

- 【注 意】
- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開かないでください。
 - 2 問題本体は7ページあります。
落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は、監督者に申し出てください。
 - 3 解答用紙は、3枚あります。
すべての解答用紙の指定箇所に受験番号を記入してください。
 - 4 問題の解答は、解答用紙に記入してください。
 - 5 下書き用紙は、2枚配付されます。
下書き用紙に解答を記入しても無効です。
 - 6 試験終了後、この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。
 - 7 解答は左から右に横書きで記入しなさい。
解答用紙は、一部の問題を除き1行20字である。

白 紙

令和5年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

[I] 次の文章は、フランスの社会学者・哲学者であるロジェ・カイヨワが、古代からの戦争の歴史を概観した後、社会の形態の変化から戦争の形態が変化した理由を考察した上で、人間はいかにすべきかを問うた作品（ユネスコ国際平和文学賞受賞）からの抜粋である。この文章を読んで設問1～設問3に答えなさい。

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

令和5年度 新潟大学 経済科学部

学 校 推 薦 型 選 抜
試 験 問 題

総合問題

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

令和5年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

著作権の関係により この部分は 表記できません。

(ロジェ・カイヨワ著 秋枝茂夫訳『戦争論 われわれの内にひそむ女神ベローナ』
一部改変)

設問1

下線部①にて、著者は、「どの国においても、戦争のたびごとに経済活動が促進された、という事実」があったと述べている。具体的にどのように経済活動が促進されたのか、本文の内容に即して160字以内で答えなさい。

設問2

下線部②にて、「意図的にわざわざ導いてゆく必要もないような、といえなおよかったと思う」と述べている。著者がそのように思う理由を、本文の内容に即して70字以内で答えなさい。

令和5年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

設問3

以下の文章は、第一次世界大戦の敗戦国ドイツへの対応について、一時、イギリス大蔵省の代表として講和会議に参加していた経済学者のジョン・メイナード・ケインズの主張である。

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

(ジョン・メイナード・ケインズ著 早坂忠訳『平和の経済的帰結(ケインズ全集第2巻)』一部改変)

カイヨワやケインズの主張を踏まえ、平和と繁栄を確保する観点から、われわれはどのような方策をとることができると考えられるか、両者の主張を簡潔に述べたうえで、あなたの考えを300字以内で述べなさい。

令和5年度 新潟大学 経済科学部
学 校 推 薦 型 選 抜
試 験 問 題

総合問題

〔Ⅱ〕以下の文章では、銀行による信用創造のメカニズムについて、1つの見解が述べられている。この文章を読んで設問1と設問2に答えなさい。

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

令和5年度 新潟大学 経済科学部
学 校 推 薦 型 選 抜
試 験 問 題

総合問題

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

令和5年度 新潟大学 経済科学部
学 校 推 薦 型 選 抜
試 験 問 題

総合問題

著作権の関係により この部分は 表記できません。

(池尾和人『現代の金融入門[新版]』一部改変)

(注) 預金準備率 預金準備率の値は、中央銀行（日本銀行）が設定するものである。

設問 1

本文に示された計算式を用いて、以下の空欄に該当する数値や選択肢を解答しなさい。 A, B, D については、当てはまる数値を答えなさい。なお、 B については、小数第2位を四捨五入して小数第1位までの数値で答えなさい。 C については、選択肢①～③の中から正しい選択肢を選びなさい。

ただし、計算途中で小数が発生する場合には、計算途中では四捨五入しないこと。

- ・銀行部門全体の預金歩留り率(α)が80%、預金準備率(β)が3%の場合、新規の貸出1,000億円に対して銀行部門が必要とする現金と準備の合計は、 A 億円である。
- ・銀行部門全体の預金歩留り率(α)が90%、預金準備率(β)が2%の場合、信用創造乗数は、 B である。また、預金歩留り率(α)を不変とした場合、中央銀行が預金準備率(β)を大きくすれば、信用創造乗数は C (選択肢：①大きくなる、②変わらない、③小さくなる)。
- ・ハイパワード・マネー(H)の総額が300兆円、貸出1単位に対して銀行が必要とする現金と準備の合計が0.2単位の場合、銀行部門の行える貸出(信用供与)額の値は D 兆円である。

設問 2

下線部にて、「中央銀行からのものしか考えられない」とはどういうことか、本文の内容に即して、200字以内で説明しなさい。